

まなびや

平瀬作五郎のイチヨウ 福井の地に



平瀬が観察したイチヨウを植樹 ひびく歌声 元気に育て

令和8年6月11日(木)、福井市出身の植物学者、平瀬作五郎が実際に観察し、生きた精子を世界で初めて発見したイチヨウの苗木の植樹式が行われました。東京の小石川植物園に今も残る樹齢三〇〇年以上のイチヨウの巨木の枝を挿し木して育てられ、当博物館に寄贈されたものです。植樹式には作五郎のひ孫の方を初めとした多くの来賓の方に加え、作五郎ゆかりの福井市旭小学校の6年生32名も参加しました。植樹後イチヨウの木を前にして合唱を披露し、会場に響く爽やかな歌声で式典に花を添えました。元気な子どもたちのように未来に花を咲かせ、実を結ぶことを期待します。



小學國語読本掛圖 1933(昭和8)年

寺子屋の個別指導から一斉授業に変わった学校の補助教具として掛図は、明治6年以降作成され、全国に頒布されました。最初は外国製の掛図の編集・複製版でしたが、文部省刊行のものや民間出版社、中には教師の手作りのものまで、様々な掛図が作られていきました。指導する目的に応じて様々な工夫が凝らされています。学校の教具とはいえ、芸術性の高いものも数多く確認されています。

開館10年記念企画展 「子どもの学びを支えた掛図」 7月11日より

学校で使われた掛図は、古くなったり傷んだりすると捨てられることが多く、昭和の中頃でさえ現存する掛図は極めて少ないものです。今回の企画展で公開される掛図の中には、県内初公開となる大変貴重なものもあります。細やかな筆づかいの日本画や石版画(リトグラフ)など、数々の掛図を紹介します。どうぞお越し下さい。(詳しくは当博物館HPで)



ウイリアムズ氏教育掛図(1862) (国立公文書館蔵)